

# TPP反対派のソースを疑ってみる

1973年福島県福島市生まれ。1998年早稲田大学法学部卒業（憲法、国際法専攻）。2006年（株）農業技術通信社入社。  
konnoman@farm-biz.co.jp

『農業経営者』編集部  
紺野浩二

野田佳彦首相が実質的にTPP（環太平洋パートナーシップ協定）に参加表明をしたにもかかわらず、ネットを中心に相変わらずTPP反対派の声がけたたましい。よつぽどヒマなんだろうか。反対しても無駄な以上、そのエネルギーを別な方向へ、前向きに使えると思うのだが……。さて、反対派が問題視するうちのひとつに、投資分野に含まれる「ISD条項」というものがある。これを簡単に説明すると、たとえば日本にあるAという企業が、Xという外国に進出して経済活動を行なうにあたって、政府から不当な権力行使を受けた場合、そのXという国を訴えることができる、という国家間の、相互の経済活動を円滑にするための取り決めにすぎない。要するに、外国へ進出する企業が、進出先国のカントリーリスクを回避するための手段になるのである。

だが、反対派の理論的支柱である中野剛志氏（TPP推進の経産省から京大に外向させられているという御仁。なんでそこまでデキる人が、本省でなぜバリバリ働かないのだから？）は、こう言うのである。

「ISD条項は、米国とカナダとメキシコの自由貿易協定であるNAFTA（北米自由貿易協定）において導入された。その結果、国家主権が犯される事態がつきつきと引き起こされている」

「カナダでは、ある神経性物質の燃料への使用を禁止していた。同様の規制は、ヨーロッパや米国のほとんどの州にある。ところが、米国のある燃料企業が、この規制で不利益を被ったとして、ISD条項に基づいてカナダ政府を訴えた。そして審査の結果、カナダ政府は敗訴し、巨額の賠償金を支払った上、この規制を撤廃せざるを得なくなった」

「米国の廃棄物処理業者が、カナダで処理をした廃棄物（PCB）を米国内に輸送してリサイクルする計画を立てたところ、カナダ政府は環境上の理由から米国への廃棄物の輸出を一定期間禁止した。これに対し、米国の廃棄物処理業者はISD条項に従ってカナダ政府を提訴し、カナダ政府は823万ドルの賠償を支払わなければならなくなった」

「ISD条項とは、各国が自国民の安全、健康、福祉、環境を、自分たちの国の基準で決められなくする『治外法権』規定なのである」

（ここまでダイヤモンド・オンラインより引用。<http://diamond.jp/articles/14540>）

中野氏の誤解を指摘しておこう。ISD条項がNAFTAに含まれていることを引き合いに、TPPに含まれることを問題視している。しかし、ISD条項に相当する協定は、WTOをはじめとする様々な協定の中に含まれている（実質上違いない）。当然だろう、経済互恵関係を築く上で、自由な経済活動が築ける環境を国同士が求め合うのは。また、一方に合理性に欠け不利益になるルールがあれば裁判する権利を認め合（WTO上の内国民待遇）、その上で法整備が認められる国が適正手続きさえ踏んで法改正に踏み切るの、何か問題があるのだろうか。なお、日本が各国と交わしたEPAの中にも含まれているが、国家主権が侵害されたというケースを聞いたことはない。さらに、日本政府が外国企業に訴えられたケースはない。それを考えれば、法整備が進んでいて、すでに数多くの多国籍企業が進出している日本がISD条項によって米国内企業に陵辱される可能性は、本当にあるのだろうか。だとすれば、日本にとつての「仮想敵」外資系企業の名前を教えてほしいものである。

また、米国の企業がカナダを訴えた件であるが、金子洋一・民主党参院議員によると、こういうことのようにである。

「TPP反対派が、ISD条項が治外法権に他ならないものであることを示すためによく例に挙げているのが、カナダ連邦政府を米国化学企業

の現地子会社が訴えた事案です。この子会社はメチルマンガン化合物(MMT)を製造していました。1997年加連邦政府がMMTの流通を禁ずる新法を作ったところ、米企業がそれにより甚大な被害をこうむったとして2億5100万ドルの支払いを求めて加連邦政府を訴えました」

「この件は、同時並行でカナダ・アルバータ州が、新法が国内通商協定(AIT)に違反するとして専門委員会に提訴し、委員会での検討の結果、新法は国内通商協定に違反すると認定されました。また、MMT自体については流通を完全に禁止する必要のあるような危険な化学物質ではないことも明らかになりました。」

この専門委員会の判断をカナダ連邦政府は受け入れ、翌年法律を廃止することにしました。それに伴い連邦政府は米社に仲裁費用と遺失利益として和解金1300万ドルを支払いました」

「これで明らかのように、カナダが連邦制という特殊な政体を探っていることから生じた政府の失策により、禁止すべきでない化学物質の流通を十分な検討もなしに誤って禁止したことが原因であり、ここから化学物質に対して十分な検討をせず規制を課すべきではないという教訓を

引き出すなら分かりますが、TPP反対派の主張しているような『カナダ国内で禁止されている有害な化学物質を強制的に輸入させられ、かつ法外な和解金をむしり取られた』という表現はミスリーディングであることはいうまでもありません」

(ここまで金子洋一議員HPより引用。  
[http://blog.guts-kaneko.com/2011/11/post\\_582.php](http://blog.guts-kaneko.com/2011/11/post_582.php))

カナダの連邦政府が科学的合理性に欠けた法律を作ってしまったところを認めているのであり、誰の意見を受けてか知らないが(例の環境圧力団体?)、バカな法律を作ってしまったからこそ米企業に訴えられるスキが出てきたとしか思えない。米国のISD条項で蹂躪されたカナダがTPPに吸い寄せられている状況をどう考えたらいいのか。デメリットを上回るメリットがあるからではないのか。

最後に治外法権説だが、これは中野氏は日本の基準が優れている、他国の基準が劣っている、とでもいいたいのだろう。ならば、拡散した放射性物質をはじめとする、これまでの日本の環境基準を米国と比べてどう思うのか、ぜひとも聞いてみたい。分かりやすい言葉は共感を得やすい、しかし情報を多角的に得なければ真実は見えないのだ。

ネット上は大多数を占めるとされる反対派の書き込みが、もはや一種の政治運動と化しており、賛成派の意見を検索しても見つけにくい。しかし、探せば、TPPを恐れる必要ないという心強い意見も出てくる。ネットユーザーは今すぐアクセスしてみて一度読んでみてほしい。パソコンを使えないという方も、考えることを放棄したくなければパソコンを使える人に頼んで印刷してもらおうなどして、様々な情報を得てほしい。また筆者はソーシャルネットワークmixi内では「TPP賛成派&別に反対しない派」というクローズドなコミュニティを管理しているので、興味ある方は参加いただきたい。

## インターネット上では あまり目立って いないけど…… TPP賛成・必要派の意見

- 政府文書・TPP協定交渉の分野別状況  
[http://www.npu.go.jp/policy/policy08/pdf/20111014/20111021\\_1.pdf](http://www.npu.go.jp/policy/policy08/pdf/20111014/20111021_1.pdf)
- TPPは米国内でもマイナーな政策だということ  
[http://business.nikkeibp.co.jp/article/topics/20111107/223664/?bv\\_ru&rt=nocont](http://business.nikkeibp.co.jp/article/topics/20111107/223664/?bv_ru&rt=nocont)
- やはり元外務官僚によれば、米国が日本には関心がほとんどないらしい  
<http://agora-web.jp/archives/1395814.html>
- おなじみヒール宮井はかく語りき  
[http://www.foodwatch.jp/column/upperch/birdseye0003\\_111107.php](http://www.foodwatch.jp/column/upperch/birdseye0003_111107.php)  
[http://www.foodwatch.jp/column/upperch/birdseye0004\\_111108.php](http://www.foodwatch.jp/column/upperch/birdseye0004_111108.php)
- よく問題にされる米韓FTAの原文  
[http://www.koreauspartnership.org/resources/korusfta\\_texts.htm](http://www.koreauspartnership.org/resources/korusfta_texts.htm)
- ISD条項=投資仲裁の事例  
[http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/tpp/pdfs/tpp02\\_06.pdf](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/tpp/pdfs/tpp02_06.pdf)

- 公的医療の問題  
<http://www.systemicsarchive.com/ja/b/medicine.html>
- 同じく公的医療の問題  
<http://kongoshinryo.jpn.org/static/tpp.html>
- 遺伝子組換えの表示の問題  
[http://www.canon-igs.org/column/macroeconomics/20111101\\_1152.html](http://www.canon-igs.org/column/macroeconomics/20111101_1152.html)
- NAFTA(北米自由貿易協定)によってメキシコが米国に悪影響を与えたという説への反論  
<http://cocolog-yoshi.cocolog-nifty.com/blog/2011/11/tpno-4930.html>
- コメと野菜の間にある差別問題  
<http://www.tkfd.or.jp/research/project/news.php?id=832>
- 先進国に生まれたがゆえに手にした既得権益問題  
<http://d.hatena.ne.jp/Chikiran/20111018>